

令和4年度

自己点検・評価年次報告書

茨城県立医療大学

目 次

I 概要

1 入学者の受け入れに関する事	1
2 教育に関する事	2
3 学生支援に関する事	2
4 研究に関する事	3
5 地域社会貢献に関する事	3
6 国際交流に関する事	3
7 附属病院に関する事	4
8 自己点検評価に関する事	4
9 情報発信に関する事	4
10 教育研究環境の整備に関する事	4
11 業務運営・財務に関する事	4
12 その他	5

II 統計資料編 (H30～R4)	(別冊)
-------------------	------

令和4年度 自己点検・評価 年次報告書 概要

第二期アクションプラン(2017年～2027年)の前期5年が経過し、アクションプランの内容見直しと計画修正の検討を実施したこと、2021年に受審した大学機関別認証評価への対応結果から、年次報告書の書式を変更し、数値目標の設定等具体的な活動実績を把握できるようにした。

点検項目は以下の12項目とし、該当する委員会で行動計画、数値目標を立案し、活動実績と達成度の自己評価を実施した。併せて、評価内容が客観的に把握できる根拠資料も明示する書式とした。

以下、各点検項目の概略を示す。

1. 入学者の受け入れに関すること

(ア) 保健医療学部

令和4年5月1日現在の学生数は704人で収容定員(608人)の1.04となった。看護学科、放射線技術科学科は1.04、理学療法学科、作業療法学科は1.03であり、定員管理は適切に実施できた(統計資料 1 大学の定員管理状況)。

令和5年度入試(令和4年度に実施)では、学校推薦型入試、前期入試、後期入試を合わせた志願者数は795人で志願倍率は4.7倍であった(統計資料 2 入学者選抜試験結果)。学科別では、放射線技術科学科で志願倍率6.1倍、次いで、理学療法学科(5.3倍)、看護学科(4.4倍)、作業療法学科(3.0倍)であった。過去5年間を比較すると、看護学科と放射線技術科学科志願倍率に大きな変動が見られなかった。一方、理学療法学科は志願倍率の変動が大きく、作業療法学科では年々志願倍率が減少している傾向であった。

入試の広報活動として、高校連絡会、オープンキャンパス、入試説明会を実施した(統計資料 3 オープンキャンパスの概要、4 高等学校連絡会)。また、大学体験プログラムを対面で再開し多くの利用があった(統計資料 5 大学体験プログラム、6 高校生公開事業)。

アドミッションセンターでの受験生の志願状況や入学後の成績に関する分析をもとに、アドミッションポリシーを修正した。また、入試における面接回数を2回から1回に変更した。

(イ) 助産学専攻科

令和4年5月1日現在の在籍数は10人で収容定員(10人)と同じであった(統計資料 1 大学の定員管理状況)。また、入試では、学内選抜、推薦、一般を合わせた志願者数は35人で志願倍率は3.5倍であった。過去5年間を比較すると令和4年度(令和3年度実施)で4.6倍と高い志願倍率となったが、それ以外の年度では3.0倍前後の志願倍率で推移した(統計資料 2 入学者選抜試験結果)。

説明会は1回で、オンラインと対面のハイブリットで実施し、43人参加した(統計資料 7 助産学専攻科説明会の概要)。

(ウ) 保健医療科学研究科

令和4年5月1日現在の在籍数は、博士前期課程(収容定員30人)で35人、博士後期課程(15人)で36人であり、在籍学生比率は前期で1.17、後期で2.4となった(統計資料 1 大学の定員管理状況)。

令和5年度入試(令和4年度に実施)では、博士前期課程で志願者20人(志願倍率1.33)、博士後期課程で6人(志願倍率1.2)であった(統計資料 2 入学者選抜試験結果)。過去5年間では、年度

ごとに志願倍率には変動が大きいですが、博士前期課程では 2.0 未満で推移していた。博士後期課程は 2.0 倍以上で推移していたが、令和 5 年度入試では 1.2 倍まで減少した(統計資料 2 入学者選抜試験結果)。一方、入学試験問題では一部不鮮明な個所が発覚したため、差し替えて対応した。

大学院説明会はコロナ禍以降、オンライン配信としており、2 か月半の配信で 37 名の参加があった(統計資料 8 大学院説明会の概要)。説明会はオンラインで実施したが、出願予定者に対し、希望する指導教員と事前相談を実施することで、研究計画に関するミスマッチを防いだ。

2. 教育に関すること

(ア) 大学全体

教員数は教授から助教まで(学長含む)で 102 名(ST 比 7.7)、大学職員数は常勤で 21 名、SS 比は 37.4 となっている(統計資料 9 教員組織学科別、12-② ST 比、SS 比)。

教職員の資質向上のための研修会は全 6 回実施した(統計資料 14 教員資質向上対策研修)。さらに、学部学生と学長、大学院生と学長の懇談会はそれぞれ 1 回ずつ実施した。シミュレーション教育の自習環境整備のために、SD・FD 委員会との共催で「シミュレーション教育の基本」を 3 回実施した。参加者へのアンケート調査から、学科間でシミュレーション教育への意識の違いが見られ、シミュレーション教育の方向性についての検討が必要であることが確認できた。

(イ) 学部教育

保健医療職に必要な能力・資質について学務委員会で見直しを図り、グローバルな視点の育成をディプロマポリシーに追加した。それを実現するために、英語学力診断テストを新入学生に導入し、英語能力を客観的に評価し、英語教育方針の参考とした。一般入試での大学入学共通テストの理科の選択科目数の変更を受け、基礎科目の見直しのロードマップを作成した。令和 8 年度までに完了する予定である。教学 IR センターで学務システムや LMS の検討を実施した。

(ウ) 大学院教育

博士前期課程において、現在の 3 専攻に医科学を追加して、一専攻科への改変を目指し、文科省へ申請書類を提出し、受理された。令和 6 年度より一専攻科に改編することとなった。

大学院の定員解離について、大学機関別認証評価で指導体制などについて指摘があったため、専攻・領域を超えた指導体制を推進した。具体的には、博士前期課程では、副指導教員制度の導入、中間発表を 1 年次に実施することで、進捗状況を共有できるようにした。

(エ) 助産学専攻科教育

コロナ禍の影響で、母性看護学の臨床実習を実施していない学生も見られたが、カリキュラムポリシーに基づく教育が実践できた。

3. 学生支援(卒業生を含む)に関すること

国家試験については、看護師、保健師、助産師は 100%の合格率であったが、それ以外は 1 名ずつ不合格であった(統計資料 18 国家試験合格率)。

求人は、県内では 291 施設 1,328 人、県外からは 2,776 施設 22,571 人であった。最も多いのが看護師、について理学療法士、作業療法士、診療放射線技師であった(統計資料 20 求人状況)。学部、助産学専攻科ともに、就職希望者全員が就職できた。また、茨城県内の定着率は学部で 69.9%、助産学専攻科では

70.0%であった(統計資料 19 進路状況、県内定着率)。大学院は、社会人入学が多いため、修了後も勤務を継続することが多い(統計資料 19 進路状況、県内定着率)。

就職支援を実施しているキャリア支援センターの利用は 2,602 件であった(統計資料 21 キャリア支援センター利用実績)。就職実践講座、マナー講座、筆記試験対策ガイダンスを開催した。また、卒業生の U ターンの概況調査を実施したところ、近県からの U ターンが多いという結果が得られた。今後の卒業生への支援に活用が期待できる。

学生相談室は 105 件の利用実績であった(統計資料 22 学生相談室利用実績)。多様な学生の相談に対応するため、12 月から学生相談員を増員し、相談日も週 2 日から 3 日に増加した。

多様な学生の背景を考慮し、ダイバーシティ委員会とともに基本方針となるガイドラインを作成した。COVID-19 対応で学生団体の活動によるクラスターを防ぐための行動指針や情報提供を実施した。

4. 研究に関すること

研究業績は、論文 162 報、学会発表 249 件であった(統計資料 26 専任教員 研究業績)。

科研費の採択は、継続分も含め 68 件となり、年々増加している(統計資料 27 科学研究費採択状況)。採択率を上昇させるために、研究支援アドバイザー制度の設立、研究支援ミニ講座の実施、外部業者や URA による申請書のレビューなどを実施した(統計資料 31 教員の研究にかかるサポート状況)。科研費以外の外部資金の受け入れは 11 件であった(統計資料 29 外部資金受け入れ状況)。

産学連携については、教職員のニーズと企業をマッチングし、計 4 件のマッチングができた。AMED シーズ Aj に 1 件が採択された。

研究倫理審査件数は 53 件、迅速審査は 41 件であった(統計資料 32 倫理審査件数)。

動物実験に関しては、実験計画の申請 23 件、うち承認は 21 件であった。その他、従事者講習会、慰霊祭、微生物モニタリングを実施した。

5. 地域・社会貢献に関すること

教員の地域貢献活動はのべ 251 件で、本務以外の委員会の委員や専門職の研修など多岐にわたっていた(統計資料 35 教員の地域貢献活動)。

大学主催の公開講座は「認知症」をテーマに 4 名の教員の講演を YouTube で配信し、829 回の視聴があった。夏休み親子科学教室は 3 テーマで実施し、抽選の末 77 名が参加した(統計資料 36 公開講座開催実績)。

また、「阿見町発、新しい医療・農連携を目指して」というテーマで大学セミナーを実施し、茨城大学農学部、東京医科大学と合わせて 77 名の参加があった。その他、筑波技術大学との連携協定も締結した。

6. 国際交流に関すること

国際交流に関する大学間協定を締結している、高雄医科大学(台湾)、ボーフム健康科学大学(ドイツ)と学生(学部生、大学院生)及び教員による交流を実施した(統計資料 40 国際交流の状況)。学生や教員の 2 大学への派遣、2 大学から学生の受け入れなど、文化圏の異なる地域の大学との交流が実施できた。また、作業療法学科では高雄医科大学の学生とはオンラインでのグループワークも実施しており、学生にとっても充実した学びにつながっている。

7. 付属病院に関すること

本学は保健医療系単科大学で唯一の付属病院を有しており、本学の特徴の一つである。付属病院については病院として別に点検評価を実施し、内容を公表しているが、大学付属であることから、大学の自己点検・評価報告書にも内容を記載している。

コロナ禍で低下した外来患者数および病床利用数を回復させるため、地域リハビリテーションとの連携強化やリハビリテーション及び関連医療サービス提供の充実などを実践した。外来の一日平均患者数は71.05、病床稼働率は75.03%と低い状況にとどまった。

臨床実習等の学生の受け入れは、本学学生は218名、他校生は44名と昨年度より若干増加した(統計資料 44 学生の受け入れ状況)。統計資料に記載はないが、栄養科などでも実習生を受け入れており、教育にも対応している。

8. 自己点検・評価に関すること

令和5年度より独立行政法人化を目指していたが中止となったため、法人化を見据えて検討していた新たな自己点検の評価基準の検討などは、一旦停止となった。中期計画として準備していた内容は令和5年度からのアクションプラン後期項目に組み込むことになった。また、自己点検・評価の年次報告書の書式は、公開期日を早めるために書式などを検討することとなった。

教学マネジメント指針(令和2年1月)に基づく大学レベルでのマネジメント体制の構築は継続して検討することとなった。

9. 情報発信に関すること

大学からの情報発信を充実させるために、広報委員会及び、学生団体を設立して積極的な広報に努めている。大学ホームページ、twitter、Facebook、Instagram を活用して情報発信をしているが、フォロワー数などの増加に向けた対応強化が必要である(統計資料 41 広報関係)。

10. 教育研究環境の整備に関すること

開学から27年が経過し、教育研究機器の老朽化などへの対応が必要になってきている。大学予算や科研費の間接経費などを活用し、新規購入や更新の必要性などを教育研究環境整備委員会でヒアリングを実施して計画的な購入を実施した(統計資料 28 科学研究費間接経費使途)

大学の施設整備については施設整備委員会で研究室などの管理責任者や火元責任者の割り当てを決定した。防災については大学危機管理規定を制定した。BCPについて今後策定の予定である。

11. 業務運営・財務に関すること

本学の大学事務は県職員が担っていることから、SD活動が重要となる。令和4年度も5回研修を実施したが、業務繁多のため参加者は少なかった(統計資料 46 主な事務職員研修)。一方、公立大学協会主催の研修にはすべて参加した。

適正な予算執行、監査対応、教育用備品の更新、研究活動支援など、ほぼ計画通りに実行した(統計資料 47 大学予算・決算)。

12. その他

(ア) ダイバーシティ推進委員会

ダイバーシティ推進委員会では、セミナーを年 1 回、多様性を尊重するガイドラインの作成、大学ホームページの該当部分のリニューアルなどを実施した。セミナーは「ダイバーシティにおける学生支援の実際」(講師 埼玉学園大学人間学部心理学科専任講師 佐藤洋輔先生)というテーマで、オンラインで実施した。

多様性を尊重するガイドラインは、学生委員会と連携して作成し、大学ホームページに掲載している。茨城県福祉部政策課人権施策推進室からの依頼で県内他大学での作成の参考資料として活用されている。

つくば女性研究者支援協議会への参加、茨城県福祉部政策課人権施策推進室主催「茨城県と県内に教育機関を有する大学等との性的マイノリティ連絡協議会」への参加など、関係機関との連携を強化している。

(イ) 新型コロナウイルス感染症対策会議

大学内の感染状況の把握、クラスター対応、学務や学生団体の活動に対する対応策の検討、感染者への個別対応の実施など多岐にわたって活動した。

大学の授業や実技実習、実験実習でのクラスターの発生はなく、学生団体での活動や学生の個人旅行などでの集団発生事例が確認できた。学生委員会と協力して、学生団体の活動で感染者が確認された場合に迅速な対応ができるような情報の確保などを周知した。

(ウ) ハラスメント防止対策委員会

ハラスメントの防止に関する規定、ガイドラインの改正を実施するとともに、SD・FD 委員会との共催で研修会を実施した。

(エ) 安全衛生委員会

各種健康診断やストレスチェックの情報共有や問題点を共有した。産業医の職場巡視を実施し、指摘点やその改善について委員会で共有した。

【入学者の受け入れに関すること】		
1	大学の定員管理状況	1
2	入学者選抜試験結果	1
3	(学部) オープンキャンパスの概要	4
4	(学部) 県内高等学校連絡会参加校数	4
5	(学部) 大学体験プログラム実績	5
6	(学部) 高校生公開授業	5
7	助産学専攻科説明会の概要	6
8	大学院説明会の概要	6
【教育に関すること】		
9	教員組織	7
10	教員異動実績(人数)	8
11	教員学位取得状況	8
12	職員数(4月1日現在)	8
13	(大学院) 研究指導教員総数及び研究指導教員審査人数	9
14	教員資質向上対策研修	9
15	学年別最上位GPAと平均GPA	11
16	単位互換実績(筑波大学、茨城大学)	11
17	あいらば利用実績	11
【学生支援に関すること】		
18	国家試験合格率	12
19	進路状況、県内定着率	12
20	求人状況	13
21	キャリア支援センター利用実績	14
22	学生相談室利用実績	14
23	保健室利用実績	14
24	日本学生支援機構 奨学金推薦人数	14
25	(大学院) ティーチングアシスタントの状況	15
【研究に関すること】		
26	専任教員 研究業績	16
27	科学研究費採択状況	16
28	科学研究費間接経費額及び用途	17
29	外部資金受け入れ状況	18
30	個人研究費配分額	18
31	教員の研究に係るサポート状況	18
32	倫理審査件数	19
33	図書館利用実績	19
34	図書数の推移	19
【地域貢献に関すること】		
35	教員の地域貢献活動状況	20
36	公開講座開催実績	20
37	専任教員養成講習会の状況	21
38	認定看護師教育課程の状況	21
39	地域貢献研究テーマ	21
【国際交流に関すること】		
40	国際交流の状況	22
【情報発信に関すること】		
41	広報関係	23
【付属病院に関すること】		
42	患者統計	24
43	予算・決算	25
44	学生の受け入れ状況	25
45	主な付属病院職員研修	26
【業務運営・財務に関すること】		
46	主な事務職員研修	27
47	大学予算・決算	28

【入学者の受け入れに関すること】

1. 大学の定員管理状況(R4年4月1日現在)

専攻	入学定員(人)	収容定員(人)【A】	在籍者数(人)【B】					在籍学生数比率【B】／【A】				
			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
保健医療学部	170	680	706	704	704	704	704	1.04	1.04	1.04	1.04	1.04
看護学科	50	200	208	206	206	209	208	1.03	1.03	1.05	1.04	1.04
理学療法学科	40	160	168	167	167	166	164	1.04	1.04	1.04	1.03	1.03
作業療法学科	40	160	168	167	167	168	165	1.04	1.04	1.05	1.03	1.03
放射線技術科学科	40	160	162	164	164	161	167	1.03	1.03	1.01	1.04	1.04
助産学専攻科	10	10	11	8	10	10	10	1.10	0.80	1.00	1.00	1.00
博士前期												
看護学専攻	6	12	16	15	12	10	14	1.33	1.25	1.00	0.83	1.17
理学療法学・作業療法学専攻	6	12	14	14	15	18	16	1.17	1.17	1.25	1.50	1.33
放射線技術科学専攻	3	6	7	8	9	9	5	1.17	1.33	1.50	1.50	0.83
博士後期												
保健医療科学専攻	5	15	30	28	28	34	36	2.00	1.87	1.87	2.27	2.40

2. 入学者選抜試験結果

<令和5年度(令和4年度実施)>

① 保健医療学部

区分	学科	定員	志願者数	志願倍率	第一段階選抜合格者	受験者数	合格者数	手続者数	手続後辞退者	入学者の概要		
										入学者数	県内高校	占有率(%)
学校推薦型	看護学科	20	91	4.6	—	91	20	20	0	20	20	100.0
	理学療法学科	16	54	3.4	—	54	16	16	0	16	16	100.0
	作業療法学科	16	33	2.1	—	33	16	16	0	16	16	100.0
	放射線技術科学科	16	54	3.4	—	54	16	16	0	16	16	100.0
	小計	68	232	3.4	—	232	68	68	0	68	68	100.0
社会人特別	看護学科	若干名	1	—	—	0	0	0	0	0	0	100.0
	理学療法学科	若干名	1	—	—	1	0	0	0	0	0	0.0
	作業療法学科	若干名	0	—	—	0	0	0	0	0	0	0.0
	放射線技術科学科	若干名	0	—	—	0	0	0	0	0	0	0.0
	小計		2	—	—	1	0	0	0	0	0	0.0
一般前期	看護学科	25	62	2.5	—	58	29	26	0	26	23	88.5
	理学療法学科	19	56	2.9	—	56	20	18	0	18	7	38.9
	作業療法学科	19	39	2.1	—	34	20	19	0	19	14	73.7
	放射線技術科学科	19	69	3.6	—	60	20	19	0	19	6	31.6
	小計	82	226	2.8	—	208	89	82	0	82	50	61.0
一般後期	看護学科	5	64	12.8	—	17	5	5	0	5	5	100.0
	理学療法学科	5	101	20.2	—	32	8	8	0	8	1	12.5
	作業療法学科	5	48	9.6	—	14	7	5	0	5	0	0.0
	放射線技術科学科	5	119	23.8	—	43	6	6	0	6	1	16.7
	小計	20	332	16.6	—	106	26	24	0	24	7	29.2
合計	看護学科	50	218	4.4	—	166	54	51	0	51	48	94.1
	理学療法学科	40	212	5.3	—	143	44	42	0	42	24	57.1
	作業療法学科	40	120	3.0	—	81	43	40	0	40	30	75.0
	放射線技術科学科	40	242	6.1	—	157	42	41	0	41	23	56.1
	小計	170	792	4.7	—	547	183	174	0	174	125	71.8

② 助産学専攻科

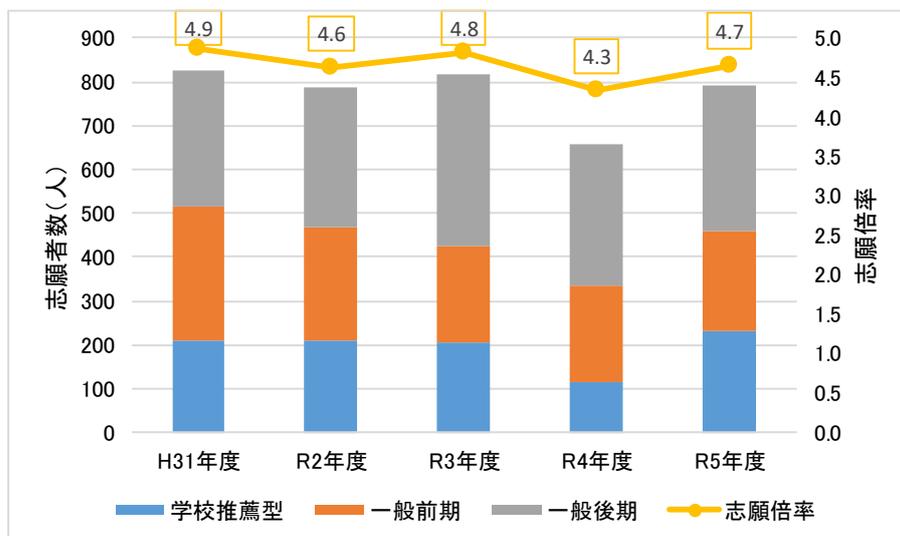
区分	学科	定員	志願者数	志願倍率	第一段階 選抜 合格者	受験者数	合格者数	手続者数	手続後 辞退者
学内選抜	助産学専攻科	3	6	2.0	-	6	3	3	0
推薦		3	6	2.0	-	6	3	3	0
一般		4	23	5.8	-	23	4	4	0

③ 大学院博士課程

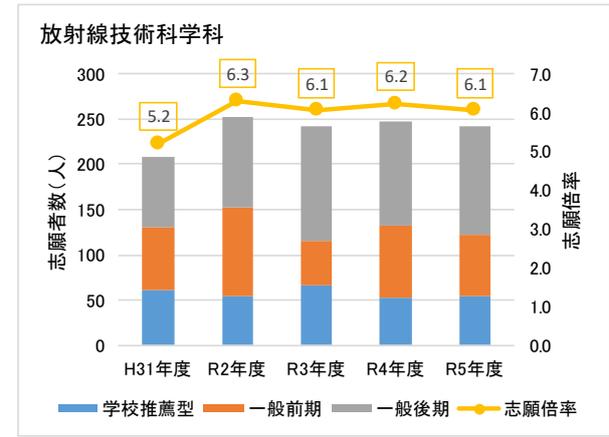
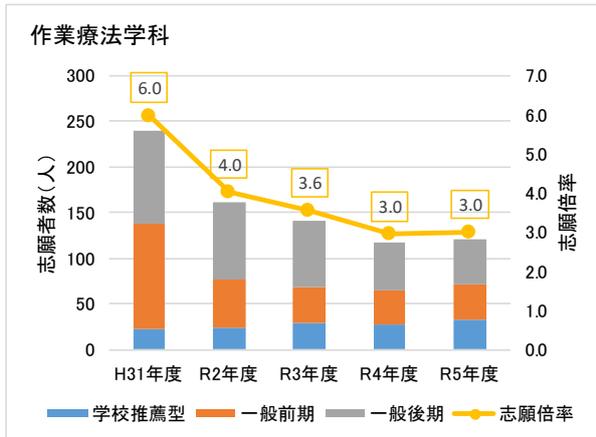
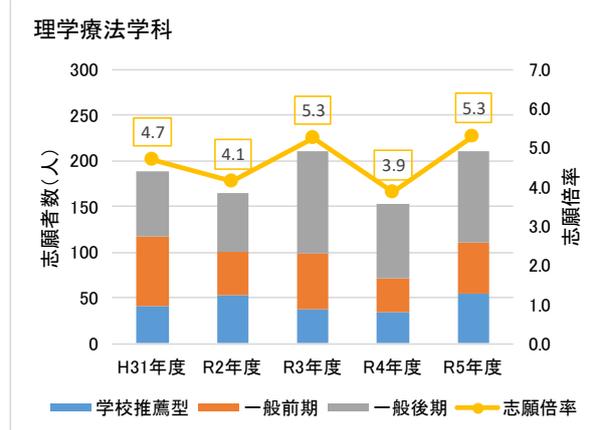
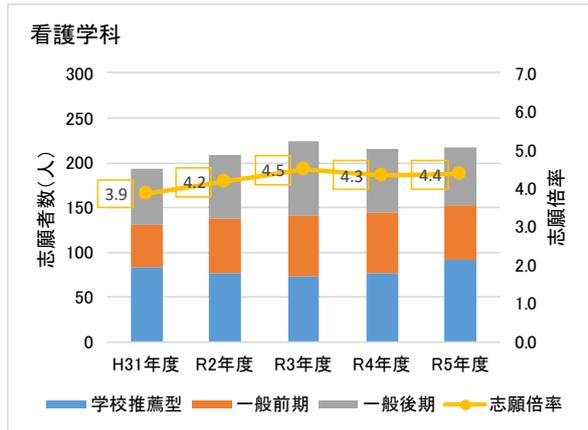
専攻	定員	志願者数	志願倍率	第一段階 選抜 合格者	受験者数	合格者数	手続者数	手続後 辞退者
博士前期課程 看護学専攻	6	9	1.5	-	9	9	8	0
博士前期課程 理学療法学・作業療 法学専攻	6	6	1.0	-	6	6	6	0
博士前期課程 放射線技術科学専攻	3	5	1.7	-	4	4	4	0
博士後期課程 保健医療科学専攻	5	6	1.2	-	6	6	6	0
計	20	26	1.3	-	25	25	24	0

<志願者数、志願倍率年次推移>

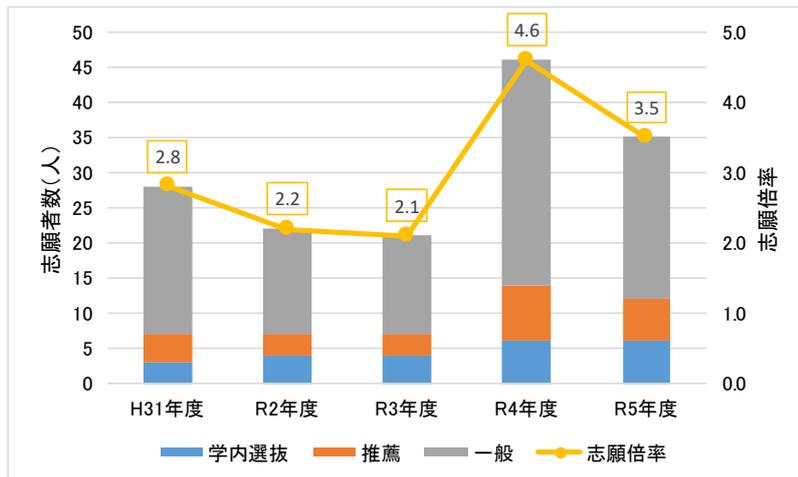
① 保健医療学部



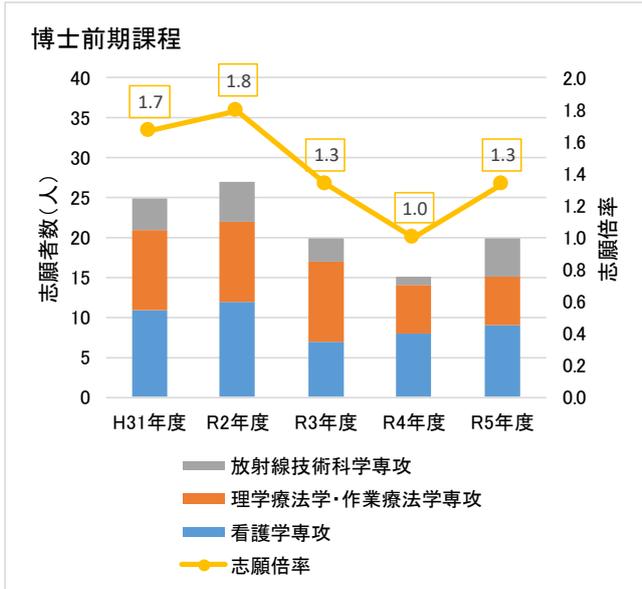
② 保健医療学部 学科別推移



③ 助産学専攻科



④ 大学院博士課程



3. (学部)オープンキャンパスの概要

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
期 日	平成30年7月21日(土) 平成30年7月22日(日) いずれも、9時00分から15時30分まで	令和元年7月20日(土) 令和元年7月21日(日) いずれも、9時00分から15時30分まで	オンライン相談会 令和2年8月2日(日) 令和2年8月23日(日) リアルオープンキャンパス 令和2年10月10日(土) 令和2年10月11日(日) 両日とも9時00分～15時30分	オープンキャンパス 令和3年7月17日(土) 令和3年7月18日(日) オンライン相談会 令和3年8月21日(土) 令和3年8月22日(日)	オープンキャンパス 令和4年7月16日(土) 令和4年7月17日(日) オンライン相談会 令和4年8月21日(土)
場 所	大講義室ほか	大講義室ほか	大講義室ほか	大講義室ほか	大講義室ほか
主な内容	○オリエンテーション(入学試験の概要、学生生活及び進路・就職状況説明) ○学生による学科紹介 ○保護者のための進学ガイダンス ○各学科等による体験コーナー、模擬授業など ○キャンパスツアー ○各種コーナー ・入試質問コーナー、過去問配布 ・経済支援質問コーナー ・大学紹介ビデオ上映 ・大学紹介パネル展示 ○図書館見学、参考図書閲覧	○オリエンテーション(入学試験の概要、学生生活及び進路・就職状況説明) ○学生による学科紹介 ○保護者のための進学ガイダンス ○各学科等による体験コーナー、模擬授業など ○OB・OGの活躍紹介 ○キャンパスツアー ○各種コーナー ・入試質問コーナー、過去問配布 ・経済支援質問コーナー ・大学紹介ビデオ上映 ・大学紹介パネル展示 ○図書館見学、参考図書閲覧	【オンラインオープンキャンパス】 ○大学紹介動画公開 オリエンテーション、各学科紹介、ミニ講義等 ○オンライン相談会 入試、経済支援、学科教員、学科学生、キャリア支援の項目で個別相談を実施。 【リアルオープンキャンパス】 ○各学科等による体験コーナー、ミニ授業など ○キャンパスツアー ○各種コーナー ・入試質問コーナー ・過去問配布 ・経済支援質問コーナー	【オープンキャンパス】 ○オリエンテーション(学長挨拶、入学試験の概要、学生生活) ○学生による学科紹介 ○キャンパスツアー ○各種コーナー(過去問配布、入試相談、経済支援相談) ○各学科等によるコーナー(模擬授業、体験プログラムなど) 【オンライン相談会】 ○個別相談(各学科教員・学生、入試、修学支援、キャリア支援)	【オープンキャンパス】 ○オリエンテーション(学長挨拶、入学試験の概要、学生生活) ○学生による学科紹介 ○キャンパスツアー 各種コーナー(入試相談、経済支援相談)
参加者	2,901名	3,068名	オンライン相談会: 62名 リアルオープンキャンパス: 537名	オープンキャンパス: 898人 オンライン相談会: 57人	オープンキャンパス: 1,651人 オンライン相談会: 359人

4. (学部)県内高等学校連絡会参加校数

	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
開催日	5月23日	7月6日	5月22日	7月5日	6月24日	7月3日	5月20日	7月2日	5月17日	7月1日
参加校数	34	30	40	24	31	32	45	24	36	22

5. (学部)大学体験プログラム実績

	平成30年度				令和元年度				令和2年度				令和3年度				令和4年度			
	回数		人数		回数		人数		回数		人数		回数		人数		回数		人数	
	(内 県外 開催)		(内 県外 開催)		(内 県外 開催)		(内 県外 開催)		(内 県外 開催)		(内 県外 開催)		(内 県外 開催)		(内 県外 開催)		(内 県外 開催)		(内 県外 開催)	
大学見学会	13	3	637	165	16	3	754	110	5	0	68	0	4	0	156	0	14	2	509	48
出張模擬授業	28	3	1,448	65	35	4	2,169	200	20	1	1,149	40	25	1	1,296	20	29	2	1,669	41
テラーメイド体験プログラム	36	0	103	0	50	0	127	0	32	0	97	0	19	3	55	3	41	1	101	1
進路説明会	32	1	-	-	18	1	-	-	22	0	-	-	21	1	-	-	38	6	374	93

6. (学部)高校生公開授業

	科目名	科目責任者	受入れ人数
平成30年度	基礎生物学	大西教授	7
	化学(グループB)	相良准教授	2
	エンカウンター演習	佐藤(純)教授	1
	リハビリテーション概論	四津准教授	5
	臨床心理	山川教授	5
	学問の時代を創った人々	才津教授	3
	健康障害の成り立ち I	馬場教授	5
令和元年度	基礎生物学	大西教授	6
	化学(グループB)	相良准教授	1
	エンカウンター演習	佐藤(純)教授	4
	臨床心理	山川教授	6
	学問の時代を創った人々	才津教授	1
令和2年度	コロナ禍で実施なし		0
令和3年度	基礎生物学	大西教授	5
	化学(グループB)	相良准教授	1
	臨床心理	山川教授	3
令和4年度	代謝生化学	相良准教授	3
	学問の時代を創った人々	才津教授	2
	健康障害と成り立ち I	馬場教授	3
	健康障害と成り立ち II	山口直人教授	3
	地域リハビリテーション	河野豊教授	3
	薬理学	田口教授	3
	熱中症予防と救急法	角准教授	20
	化学実験体験講座	相良准教授	18
	コーチングについて学んでコミュニケーション能力を高めよう!	安田特任助手	30

7. 助産学専攻科説明会の概要

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
期 日	平成30年5月26日(土) 13時00分～ 16時00分	令和元年5月25日(土) 13時00分～ 16時00分	【動画配信】 令和2年6月13日(土) ～6月26日(金) 【質問回答】 令和2年7月1日(水)	令和3年5月22日(土) 13:00～16:00	令和4年5月21日(土) 13:00～16:00
場 所	本学講義棟, 実習棟ほか	本学福利厚生棟, 実習棟ほか	ZOOM	本学講義棟, 実習棟ほか	本学講義棟, 実習棟ほか
主な内容	①教育課程や入学者選抜方法等の説明 ②実習室見学 ③教員・学生との個別相談	①教育課程や入学者選抜方法等の説明 ②実習室見学 ③教員・学生との個別相談	①教育課程や入学者選抜方法等の説明 ②質疑応答	①教育課程や入学者選抜方法等の説明 ②教員や先輩(修了生)との個別相談 ③実習室見学 遠隔者用にZOOMでも配信	①教育課程や入学者選抜方法等の説明 ②教員や先輩(修了生)との個別相談 ③実習室見学 遠隔者用にZOOMでも配信
参加者	36名	32名	31名	49名	43名

8. 大学院説明会の概要

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
期 日	平成30年6月10日(日) 13時30分から16時30分	令和元年6月9日(日) 13時30分から16時30分	令和2年6月17日(水)から 令和2年8月31日(月)まで	令和3年6月16日(水)から 令和3年8月30日(月)まで	令和4年6月16日(火)から 令和4年8月29日(月)まで
場 所	本学講義棟, 実習棟	本学講義棟, 実習棟	オンライン配信	オンライン配信	オンライン配信
主な内容	①各専攻・領域共通: 大学院概要, 入学試験概要, 奨学金・入学料等の減免 ②専攻・領域別: 各専攻・領域別の説明及び面談等				
参加者	37名	29名	30名	25名	37名

【教育に関すること】

9. 教員組織

① 学科別教員数(R4年度)

(単位：人)

所 属	教 授	准教授	講 師	助教	計	特任助手
学 長	1				1	
助産学専攻科	1	1	0	1	3	
看 護 学 科	7	9	1	8	25	4
理学療法学科	5	4	1	6	16	4
作業療法学科	4	3	2	5	14	3
放射線技術科学科	6	3	0	4	13	4
人間科学センター	5	2	1	1	9	3
医科学センター	8	2	0	1	11	4
付属病院	1	2	7	0	10	
合 計	38	26	12	26	102	22

② 職階別年齢構成(R4年5月1日現在)

保健医療学部

年代	人数					構成比
	教授	准教授	講師	助教	計	
20歳代	0	0	0	2	2	2.1%
30歳代	0	3	1	17	21	21.9%
40歳代	3	11	2	10	26	27.1%
50歳代	16	10	3	0	29	30.2%
60歳代	18	0	0	0	18	18.8%
計	37	24	6	29	96	100.0%

大学院

年代	人数					構成比
	教授	准教授	講師	助教	計	
20歳代	0	0	0	0	0	0.0%
30歳代	0	2	2	5	9	12.2%
40歳代	2	11	4	2	19	25.7%
50歳代	16	9	3	0	28	37.8%
60歳代	17	1	0	0	18	24.3%
計	35	23	9	7	74	100.0%

* 学長は教授にカウントした。また、特任助手は含まない。

10. 教員異動実績(人数)

	平成30年度内	令和元年度内	令和2年度内	令和3年度内	令和4年度内
新規採用	4	7	6	12	4
昇任	3	4	2	3	1
退職	7	5	13	8	9

11. 教員学位取得状況(R4年度4月1日現在の人数)

	博士	修士	学士	計
学長	1			1
教授	33	4		37
准教授	20	5	1	26
講師	3	4	5	12
助教	12	14		26
合計	69	14	6	102

12. 職員数(4月1日現在)

① 大学事務局及び付属病院 (人数)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
常勤職員		186	198	206	200	192	
	付属病院	総務課	14	16	19	19	13
		教務課	9	8	7	9	8
		病院管理課	10	9	9	9	9
		医療職	153	165	171	163	162
臨時及び非常勤		61	54	61	68	69	
	付属病院	総務課	12	10	13	10	12
		教務課	9	8	7	12	13
		病院管理課	7	7	7	12	11
		医療職	33	29	34	34	33
休職者等		2	1	3	2		
合計		247	254	268	271	263	

② ST比、SS比

年度	学生数 (学部・大学院・助産専攻科含む)	教員数 (助教以上)	職員数 (非常勤・臨時除く)	ST比		SS比	
				学生/教員	学生/職員		
平成30年度	784	104	23	7.5	34.1		
令和元年度	777	106	24	7.3	32.4		
令和2年度	776	104	26	7.5	29.8		
令和3年度	785	102	28	7.7	28.0		
令和4年度	785	102	21	7.7	37.4		

13. (大学院)研究指導教員総数及び研究指導教員審査人数

① 研究指導教員総人数

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
研究指導教員(前期)	48	45	44	46	43
研究指導補助教員(前期)	11	11	20	16	16
研究指導教員(後期)	41	38	38	40	36
研究指導補助教員(後期)	5	5	15	13	13

* 博士前期課程、後期課程で分けて算出

(例) A教員が前期〇合、後期〇合の教員だった場合は、それぞれ1ずつカウントした。

② 研究指導教員審査人数

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
研究指導教員(前期)	2	1	3	3	14
研究指導補助教員(前期)	1	0	12	1	7
研究指導教員(後期)	3	1	2	3	13
研究指導補助教員(後期)	1	0	13	1	5

* 研究指導教員の審査を受けた人数を計上した。

14. 教員資質向上対策研修

① 項目別実施回数

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
全学FD研修会	1	1	1	1	1
大学院FD研修会	1	1	1	1	1
I P Uミーティング	3	3	3	3	1
公開授業	1	2	1	1	1
新任教員研修会	1	1	1	1	1
学修アドバイザー研修会	1	1	1	1	1

② 実施内容と参加人数(過去5年間)

1) 全学FD研修会

年度	回数	日時	テーマ	参加人数
平成30年度	第31回	10月22日	地域における多職種連携教育と大学の役割～ごちゃまぜ、置き去り、むちゃぶり～	101名
令和元年度	第32回	10月28日	看護学における高度実践のグローバルスタンダード	89名
令和2年度	第33回	10月26日	本学の特色とKAIZEN	81名
令和3年度	第34回	10月25日	本学カリキュラムの将来を考える	106名
令和4年度	第35回	10月24日	ハラスメント防止における本学の課題と方略を探る	96名

2) 大学院 FD 研修会

年度	回数	日時	テーマ	参加人数
平成30年度	第31回	10月22日	地域における多職種連携教育と大学の役割～ごちゃまぜ、置き去り、むちゃぶり～	101名
令和元年度	第32回	10月28日	看護学における高度実践のグローバルスタンダード	89名
令和2年度	第33回	10月26日	医工連携による実用化研究の経験	93名
令和3年度	第34回	10月25日	本学カリキュラムの将来を考える	106名
令和4年度	第35回	10月24日	ハラスメント防止における本学の課題と方略を探る	96名

3) IPUHS ミーティング

年度	回目	期日	テーマ	参加人数
平成30年度	第39回	9月26日	公的研究費コンプライアンス研修会	102名
	第40回	12月19日	教育改善をどのように進めるか～内部質保証のためのIRの活用～	51名
	第41回	2月26日	多職種連携の現状について、現場の声を聞いてみよう！（本学卒業生をシンポジストに招いた研修会の開催）	42名
令和元年度	第42回	9月25日	公的研究費コンプライアンス研修会	101名
	第43回	12月24日	大学におけるLGBT等に対する支援と今後の課題	58名
	第44回	2月7日	大学教育の質保証に向けた教学マネジメントの確立と大学間連携	53名
令和2年度	第45回	9月23日	公的研究費コンプライアンス研修会	107名
	第46回	12月24日	全国大学法人化の動向と本学の課題	42名
	第47回	2月4日	ハラスメントにならないようなコミュニケーション	Zoom
令和3年度	第48回	9月2日	ダイバーシティセミナー	77名
	第49回	9月22日	公的研究費コンプライアンス研修会	105名
	第50回	12月24日	スポーツコーチングにおける知見の共有を通して学生と教員とが意見交換しやすい環境作りを考える	53名
令和4年度	第51回	9月6日	ダイバーシティセミナー 「ダイバーシティにおける学生支援の実例 -SOGI/LGBTQを中心に-」	Zoom

15. 学年別最上位 GPA と平均

	学科	1年次生		2年次生		3年次生		4年次生	
		最上位 GPA	平均 GPA						
平成30年度	保健医療学部	3.72	2.79	3.72	2.62	3.53	2.74	3.90	2.85
	助産学専攻科	3.70	3.25						
令和元年度	保健医療学部	3.66	2.79	3.70	2.59	3.98	2.80	4.00	2.93
	助産学専攻科	3.80	3.18						
令和2年度	保健医療学部	3.90	3.17	3.86	3.01	3.77	2.99	3.80	2.95
	助産学専攻科	3.71	3.30						
令和3年度	保健医療学部	3.72	3.00	3.76	2.84	3.76	2.84	3.89	3.08
	助産学専攻科	3.72	3.43						
令和4年度	保健医療学部	3.66	2.95	3.67	2.82	3.76	2.85	3.96	2.93
	助産学専攻科	3.73	3.49						

16. 単位互換実績(筑波大学、茨城大学)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
他大学学生	筑波大学から	0	0	0	0	0
	茨城大学から	1	0	0	0	0
本学学生	筑波大学へ	1	0	4	2	9
	茨城大学へ	0	0	0	0	1

17. あいらぼ利用実績

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
学部生	605	618	345	416	1525
大学院生	0	0	0	0	0
教員	77	53	134	130	65
付属病院	105	88	103	8	104
外部	966	1080	202	368	213

* 外部にはオープンキャンパスでの利用や中学生講座での利用者を含む

【学生支援に関すること】

18. 国家試験合格率

保健医療学部	平成30年度 (本学21期生)			令和元年度 (本学22期生)			令和2年度 (本学23期生)			令和3年度 (本学24期生)			令和4年度 (本学25期生)		
	受験者数	合格者数	合格率(%)	受験者数	合格者数	合格率(%)	受験者数	合格者数	合格率(%)	受験者数	合格者数	合格率(%)	受験者数	合格者数	合格率(%)
保健師	55	52	94.5	48	48	100.0	47	47	100.0	51	47	92.2	49	49	100.0
看護師	55	55	100.0	48	48	100.0	47	47	100.0	51	50	98.0	49	49	100.0
理学療法士	39	38	97.4	42	40	95.2	41	40	97.6	42	42	100.0	39	38	97.4
作業療法士	39	38	97.4	37	37	100.0	38	38	100.0	42	40	95.2	37	36	97.3
診療放射線技師	40	40	100.0	37	36	97.3	40	38	95.0	35	33	94.3	41	40	67.6

助産学専攻科	平成30年度			令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
	受験者数	合格者数	合格率(%)	受験者数	合格者数	合格率(%)	受験者数	合格者数	合格率(%)	受験者数	合格者数	合格率(%)	受験者数	合格者数	合格率(%)
助産師	10	10	100.0	8	7	87.5	10	10	100.0	10	10	100.0	10	10	100.0

19. 進路状況、県内定着率

① 保健医療学部

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
卒業生数(人)	看護学科	55	48	47	51	49
	理学療法学科	39	42	41	42	39
	作業療法学科	40	37	39	42	37
	放射線技術科学科	40	37	40	35	41
	学部計	174	164	167	170	166
就職希望者数(人)	看護学科	55	48	47	51	49
	理学療法学科	39	42	41	42	39
	作業療法学科	40	37	39	42	37
	放射線技術科学科	40	37	40	35	41
	学部計	174	164	167	170	166
就職率(%)	看護学科	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	理学療法学科	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	作業療法学科	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	放射線技術科学科	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	学部平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
県内定着率(%)	看護学科	76.0	77.3	73.2	79.5	90.5
	理学療法学科	73.7	60.0	57.5	66.7	66.7
	作業療法学科	73.7	70.3	66.7	67.5	68.6
	放射線技術科学科	52.6	51.5	41.0	65.5	48.5
	学部平均	69.5	65.6	59.7	70.4	69.9

② 助産学専攻科

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
卒業生数(人)	10	8	10	10	10
就職希望者数(人)	10	8	10	10	10
就職率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
県内定着率(%)	60.0	75.0	50.0	70.0	70.0

③ 大学院

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
修了者数(人)	前期課程	17	17	16	14	12
	後期課程	7	7	4	6	4
	計	24	24	20	20	16
就職率(%)	前期課程	100.0	88.2	93.7	100.0	83.3
	後期課程	100.0	100.0	100.0	100.0	75.0
	計	100.0	91.6	95.0	100.0	81.2
県内定着率(%)	前期課程	87.5	76.9	77.8	57.1	70.0
	後期課程	85.7	85.7	50.0	100.0	66.7
	計	86.9	80.0	69.2	70.0	69.2

※：現職場での継続勤務を含む。

20. 求人状況

	職種	求人数(人)			求人施設(施設)		
		県内	県外	計	県内	県外	計
平成30年度	看護師	646	14,878	15,524	48	381	429
	保健師	43	382	425	21	90	111
	助産師	17	512	529	6	149	155
	理学療法士	219	3,367	3,586	76	695	771
	作業療法士	213	3,384	3,597	78	710	788
	診療放射線技師	52	923	975	26	339	365
	合計	1,190	23,446	24,636	255	2,364	2,619
令和元年度	看護師	666	14,091	14,757	43	359	402
	保健師	50	372	422	23	83	106
	助産師	29	516	545	10	132	142
	理学療法士	207	3,280	3,487	73	721	794
	作業療法士	203	3,118	3,321	79	737	816
	診療放射線技師	61	1,051	1,112	28	380	408
	合計	1,216	22,428	23,644	256	2,412	2,668
令和2年度	看護師	604	12,039	12,643	50	324	374
	保健師	52	484	536	20	74	94
	助産師	27	383	410	6	115	121
	理学療法士	172	2,528	2,700	63	576	639
	作業療法士	167	2,374	2,541	73	584	657
	診療放射線技師	29	775	804	16	297	313
	合計	1,051	18,583	19,634	228	1,970	2,198
令和3年度	看護師	598	9,791	10,389	50	262	312
	保健師	57	473	530	28	63	91
	助産師	25	317	342	7	93	100
	理学療法士	168	2,603	2,771	69	616	685
	作業療法士	171	2,524	2,695	78	622	700
	診療放射線技師	47	930	977	25	350	375
	合計	1,066	16,638	17,704	257	2,006	2,263
令和4年度	看護師	705	11,119	11,824	60	445	505
	保健師	63	606	669	32	134	166
	助産師	22	383	405	6	113	119
	理学療法士	255	4,711	4,966	83	863	946
	作業療法士	231	4,473	4,704	85	831	916
	診療放射線技師	52	1,279	1,331	25	390	415
	合計	1,328	22,571	23,899	291	2,776	3,067

21. キャリア支援センター利用実績

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
総利用件数		3,122	3,301	4,149	2,894	2,602
内訳	相談	1,135	1,217	1,239	1,205	1,157
	資料閲覧等	1,987	2,084	2,910	1,689	1,445

資料閲覧等には、ホールにある就職情報の閲覧者は含んでいない。

22. 学生相談室利用実績

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
総相談件数	40	92	95	120	105

23. 保健室利用実績

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
総利用件数	1,551	1,331	627	317	483

24. 日本学生支援機構 奨学金推薦人数

		学 科 名	1年生	2年生	3年生	4年生	合計
平成30年度	第一種推薦	保健医療学部	6	0	1	0	7
		助産学専攻科	0	0	0	0	0
	第二種推薦	保健医療学部	7	4	1	0	12
		助産学専攻科	1	0	0	0	1
令和元年度	第一種推薦	保健医療学部	4	1	0	0	5
		助産学専攻科	1	0	0	0	1
	第二種推薦	保健医療学部	4	1	0	0	5
		助産学専攻科	3	0	0	0	3
令和2年度	第一種推薦	保健医療学部	1	1	1	0	3
		助産学専攻科	2	0	0	0	2
	第二種推薦	保健医療学部	1	3	0	0	4
		助産学専攻科	1	0	0	0	1
	給付型推薦	保健医療学部	3	1	3	2	9
		助産学専攻科	0	0	0	0	0
令和3年度	第一種推薦	保健医療学部	5	0	0	0	5
		助産学専攻科	1	0	0	0	1
	第二種推薦	保健医療学部	5	0	1	0	6
		助産学専攻科	0	0	0	0	0
	給付型推薦	保健医療学部	7	7	0	0	14
		助産学専攻科	0	0	0	0	0
令和4年度	第一種推薦	保健医療学部	3	3	0	0	6
		助産学専攻科	1	0	0	0	1
	第二種推薦	保健医療学部	4	1	0	0	5
		助産学専攻科	0	0	0	0	0
	給付型推薦	保健医療学部	4	3	0	1	8
		助産学専攻科	0	0	0	0	0

25. (大学院)ティーチングアシスタントの状況

年度	H 3 1 / R1	R2	R3	R4
実施	16人	14人	9人	12人
実施時間	902時間	733時間	442時間	453時間
支出金額	1,103,540円	908,920円	552,880円	568,920円

【研究に関すること】

26. 専任教員 研究業績

		原著論文		総説	著書	報告等	論文合計	学会発表（回数）	
		英文	和文					国際学会	国内学会
令和2年度	看護学科	2	5	1	14	12	7	1	38
	助産学専攻科	0	0	0	0	2	0	0	4
	理学療法学科	29	12	2	0	11	41	2	19
	作業療法学科	2	10	0	5	3	12	3	17
	放射線技術科学科	11	3	1	13	21	14	5	19
	人間科学センター	10	7	2	0	1	17	0	4
	医科学センター	23	5	3	5	3	28	2	21
	付属病院	6	5	0	0	1	11	0	18
	合計	83	47	9	37	54	130	13	140
令和3年度	看護学科	3	7	0	13	16	10	7	36
	助産学専攻科	0	0	0	0	2	0	0	3
	理学療法学科	23	13	1	2	1	36	6	37
	作業療法学科	5	6	0	0	4	11	12	4
	放射線技術科学科	14	2	0	4	19	16	7	23
	人間科学センター	14	8	0	0	4	22	1	11
	医科学センター	28	6	1	6	2	34	6	40
	付属病院	9	4	0	0	1	13	0	7
	合計	96	46	2	25	49	142	39	161
令和4年度	看護学科	8	5	0	13	11	13	4	31
	助産学専攻科	0	1	0	0	0	1	2	2
	理学療法学科	36	8	1	4	3	44	2	50
	作業療法学科	5	9	0	0	5	14	10	30
	放射線技術科学科	25	6	0	4	14	31	6	31
	人間科学センター	7	4	1	0	2	11	2	14
	医科学センター	26	5	2	5	6	31	2	48
	付属病院	13	4	0	1	1	17	0	15
	合計	120	42	4	27	42	162	28	221

* 共著の場合は筆頭著者または責任著者の所属学科、センターにカウント

27. 科学研究費採択状況

(単位:千円)

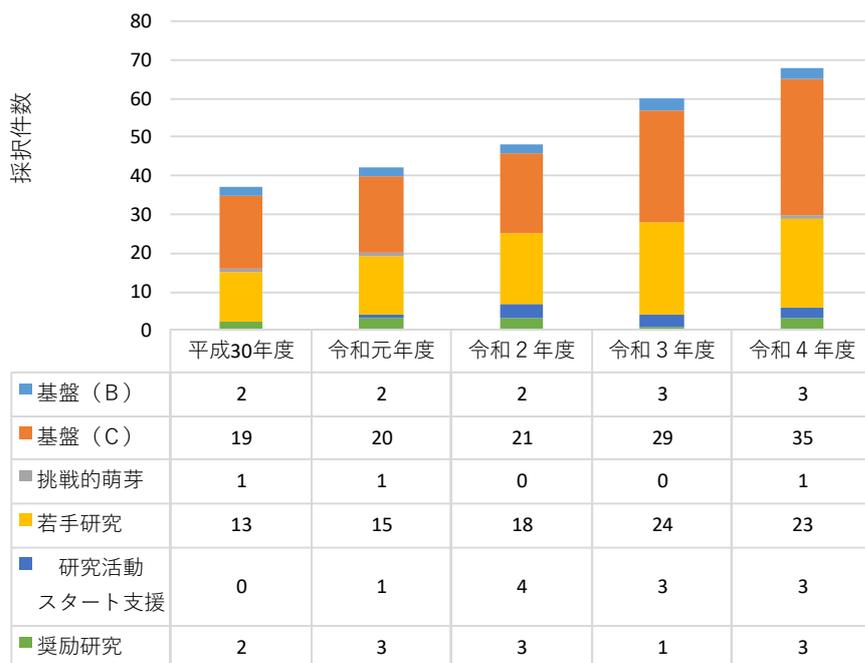
年度	基盤(B)		基盤(C)		挑戦的萌芽		若手研究		研究活動 スタート支援		奨励研究	
	件数*1	交付額*2	件数	交付額	件数	交付額	件数	交付額	件数	交付額	件数	交付額
平成30年度	2	2,860	19	17,290	1	260	13	14,820	0	0	2	1,060
令和元年度	2	12,480	20	18,330	1	0	15	15,600	1	520	3	1,610
令和2年度	2	4,160	21	20,020	0	0	18	17,550	4	4,160	3	1,440
令和3年度	3	10,140	29	30,010	0	0	24	18,030	3	3,510	1	470
令和4年度	3	6,860	35	26,130	1	1,300	23	14,170	3	0*3	3	1,420

※1 件数:新規採択+継続課題+補助事業期間延長課題

※2 交付額:直接経費+間接経費(ただし、本学教員が研究代表者として交付決定を受けた金額)

※3 前年度分繰り越しによるもの

<採択数の推移>



28. 科学研究費間接経費及び使途

年度	決定額 (千円)
平成30年度	6,935
令和元年度	12,048
令和2年度	7,713
令和3年度	11,730
令和4年度	15,038

年度	No.	項目	決定額 (千円)
令和4年度	1	あいらぼ整備に係る報償費	288
	2	動物実験管理用品一式	550
	3	科研費新規獲得支援経費 (ロバストジャパン)	689
	4	図書館長室環境整備	250
	5	研究不正の防止に係る経費 (剽窃チェックツール、ラボノート)	935
	6	キャリセン作業用ディスプレイモニター	80
	7	多目的冷却遠心機	1,270
	8	マイクロチップ電気泳動装置	4,840
	9	凍結切片マイクローム一式	1,788
	10	ポッフムとのweb会議サポート (通訳)	350
	11	大型車いす及び電動ベッド	1,072
	12	タダコピ使用料 (プリントし放題サービス)	726
	13	研究支援嘱託雇用負担金	600
	14	アイトラッキングデータ解析ソフトウェア (専用PC購入含む)	1,600
		計	15,038

29. 外部資金受け入れ状況

	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
科学研究費補助金※	37	36,290	42	48,540	48	47,330	60	62,160	68	49,880
受託研究	4	7,740	4	7,234	2	3,250	1	1,040	2	1,340
共同研究 (研究費受入れ有り)	3	1,090	5	3,660	2	1,270	8	4,445	1	770
共同研究 (研究費受入れ無し)	2	0	2	0	5	0	3	0	6	0
奨学寄附金	1	2,500	1	2,500	1	2,500	0	0	2	370
計	47	47,620	54	61,934	58	54,350	72	67,645	79	52,360

※本学教員が研究代表者の課題のみ。金額は、直接経費+間接経費の合計(交付決定額)。(他大学へ配分した分担金を含む)

30. 個人研究費配分額

	職階	人数	配分額 (千円)	1人あたり平均配分額 (千円)	1人あたり基本研究費 (千円)
令和2年度	教授	38	13,995	368	200
	准教授	27	6,335	235	170
	講師	13	3,132	241	170
	助教	31	6,776	219	160
令和3年度	教授	38	12,972	341	200
	准教授	27	5,965	221	170
	講師	13	2,720	209	170
	助教	30	6,405	214	160
令和4年度	教授	38	13,937	367	200
	准教授	26	6,589	253	170
	講師	13	2,549	196	170
	助教	29	6,460	223	160

31. 教員の研究にかかるサポート状況

■ 科研費申請に係る研究計画調書のレビュー支援

(単位：件数)

サポート内容	実施年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
外部業者による個別レビュー		15	20	11
URAによる個別レビュー		—	9	5
合計		15	29	16

32. 倫理審査件数

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
承認	0	0	0	0	0
条件付承認	53	46	59	44	50
変更の勧告	1	1	2	0	1
非該当	0	0	0	2	2
計	54	47	61	46	53

<迅速審査件数>

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
承認	32	29	32	30	32
条件付承認	17	16	19	0	0
変更の勧告	0	0	0	0	0
非該当	3	4	8	2	9
計	52	49	59	32	41

33. 図書館利用実績

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
総入館者数(人)	87,872	75,786	38,980	37,520	44,319
(内 学外者)	1,590	1,592	6	15	271
総貸出冊数(冊)	19,268	18,650	11,719	11,950	11,025
(学生1人当たりの年間貸出冊数)	19	19	13	13	14

34. 図書数の推移

	図書(冊)			雑誌(種)			その他 (種)
	和書	洋書	計	和雑誌	洋雑誌	計	
平成30年度	93,349	33,840	127,189	945	799	1,744	7,206
令和元年度	92,751	34,087	126,838	966	802	1,768	7,252
令和2年度	93,397	33,819	127,216	988	814	1,802	7,287
令和3年度	93,416	34,152	127,568	994	813	1,807	7,317
令和4年度	94,590	34,179	128,769	994	813	1,807	7,368

【地域貢献に関すること】

35. 教員の地域貢献活動状況

年度	委員会の委員	講習会、 シンポジウム	地域に貢献する 研究・活動	専門職の研修等	その他	計
平成30年度	70	36	34	45	64	249
令和元年度	84	21	44	32	58	239
令和2年度	92	38	37	59	115	341
令和3年度	48	13	21	23	63	168
令和4年度	75	21	42	39	74	251

※その他：学術集会大会長、査読者、懇話会世話人、事故検証アドバイザー、医療情報助言者、国家試験問題作成 など

36. 公開講座開催実績

年度	講座名	テーマ	受講者(人)
平成30年度	夏休み親子科学教室	ペットボトルで顕微鏡を作ろう 体の中を探る仕組み	72
	一般医療教育	日常生活動作の介助方法と工夫	15
		脳卒中を予防しよう！脳卒中予防のための10か条	17
		理学療法士の理解と体験～運動機能が低下した状態にある人々に対する治療法～	24
		「大切なお薬との”つきあいかた”」	16
	計	144	
令和元年度	夏休み親子科学教室	食べ物の消化の仕組み～食べ物はどこに行くの？ 見えないものをみる～体の中を探る仕組み～ 息を吸ったり吐いたりする仕組み～肺の動きを知ろう～	128
	一般医療教育	息を吸ったり吐いたりする仕組み～肺の動きを知ろう～	13
		歩くことが難しい人にどのように接すればよいのか？ 一杖や車いすの使い方や介助の方法を学びましょう！	17
		脳卒中を予防しよう！脳卒中予防のための10か条	13
		どのような自助具を使えば良い？作業療法士が考える、生活で使える道具	中止
	計	171	
令和2年度	夏休み親子科学教室	コロナ禍のため中止	0
	一般医療教育	コロナ禍のため中止	0
		コロナ禍のため中止	0
		コロナ禍のため中止	0
		コロナ禍のため中止	0
	計	0	
令和3年度	夏休み親子科学教室	コロナ禍のため中止	0
	一般医療教育 (オンライン講座)	・運動の大切さー運動が心身にもたらす作用について ・どのような自助具を使えばよい？。作業療法士が考える生活で使える道具選びと食事支援のポイント ・歩くことが難しい人にどのように接すればよいのか？ ・褥瘡はなったら大変！褥瘡ができるきっかけと予防方法	188
		計	188
令和4年度	夏休み親子科学教室	食べ物の消化の仕組み～食べ物はどこに行くの？ 見えないものをみる～体の中を探る仕組み～ 空気の持つふしぎな力と肺の仕組みの関係	77
	一般医療教育 (オンライン講座)	・認知症と年相応の物忘れてどう違うの？ ・認知症になってもうまく暮らすコツ ・認知症予防のためにどのような運動をすればよい？ ・認知症との付き合い方？～認知症の人の生活とその対応～	191
		計	268

